

環境で地方を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業  
**成果報告会 発表資料**

活動団体名：長沼町

活動地域：北海道夕張郡長沼町

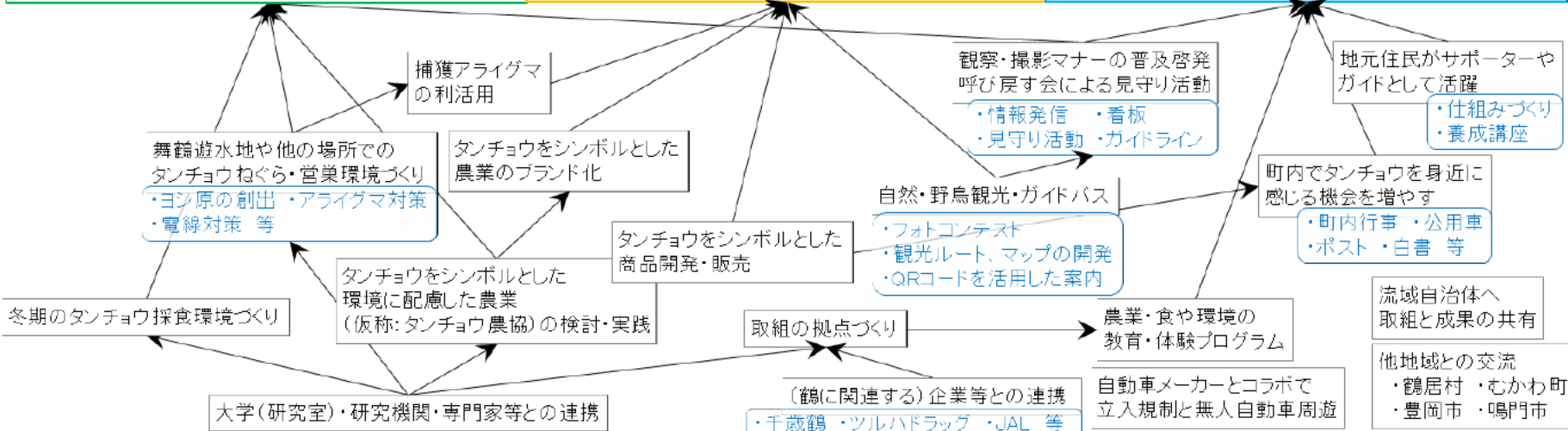
活動におけるテーマ・キャッチコピー  
タンチョウも住めるまちづくり

# 地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

## 長沼町版将来ビジョン(マンダラ)(案ver.011)

### 長沼町のタンチョウも住めるまちづくり

環境	経済	社会
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 採食・ねぐら入り・営巣できる環境があり、タンチョウが定着している。</li> <li>● 地域の自然を象徴する野生生物が生息・生育する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タンチョウをシンボルに農業がブランド化され、農産物の価値が向上。</li> <li>● タンチョウや自然を目的に観光客が増え、町内商店等を利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域ぐるみでタンチョウを見守る雰囲気醸成される。</li> <li>● 地域の自然に関する環境教育が学校やグリーンツーリズムで行われる。</li> </ul>



### 課題

<p>人口減少</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農家軒数減少</li> <li>農業の規模拡大</li> <li>グリツリ受入減少</li> <li>学校の統合(遊休施設の増加)</li> </ul>	<p>産業・仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光産業の不足</li> <li>加工産業の不足</li> </ul>	<p>社会インフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊施設の不足</li> <li>公共交通の不足</li> </ul>
---	---	--

### 資源

空から見る長沼紹介

<p>自然・景観</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タンチョウの飛来</li> <li>渡り鳥のフライウェイ</li> <li>舞鶴遊水地(千歳川遊水地群)</li> <li>河川(千歳川・夕張川・馬追運河)</li> <li>農村景観</li> </ul>	<p>農業・食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大豆などの農産物</li> <li>どぶろく特区</li> <li>ジンギスカン</li> <li>カフェ・レストラン</li> </ul>	<p>教育・人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意識の高い農家</li> <li>グリーン・ツーリズム</li> <li>小中高等学校</li> <li>アーティスト</li> <li>住民団体</li> </ul>	<p>施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅</li> <li>ながめま温泉</li> <li>空き家・空き室</li> <li>学校跡</li> <li>空港に近い(飛行機の旋回)</li> <li>一棟貸し宿</li> <li>テレワークスペース(ホワイトベース)</li> </ul>
---	---	---	---

# 地域のビジョンを実現するための成果指標

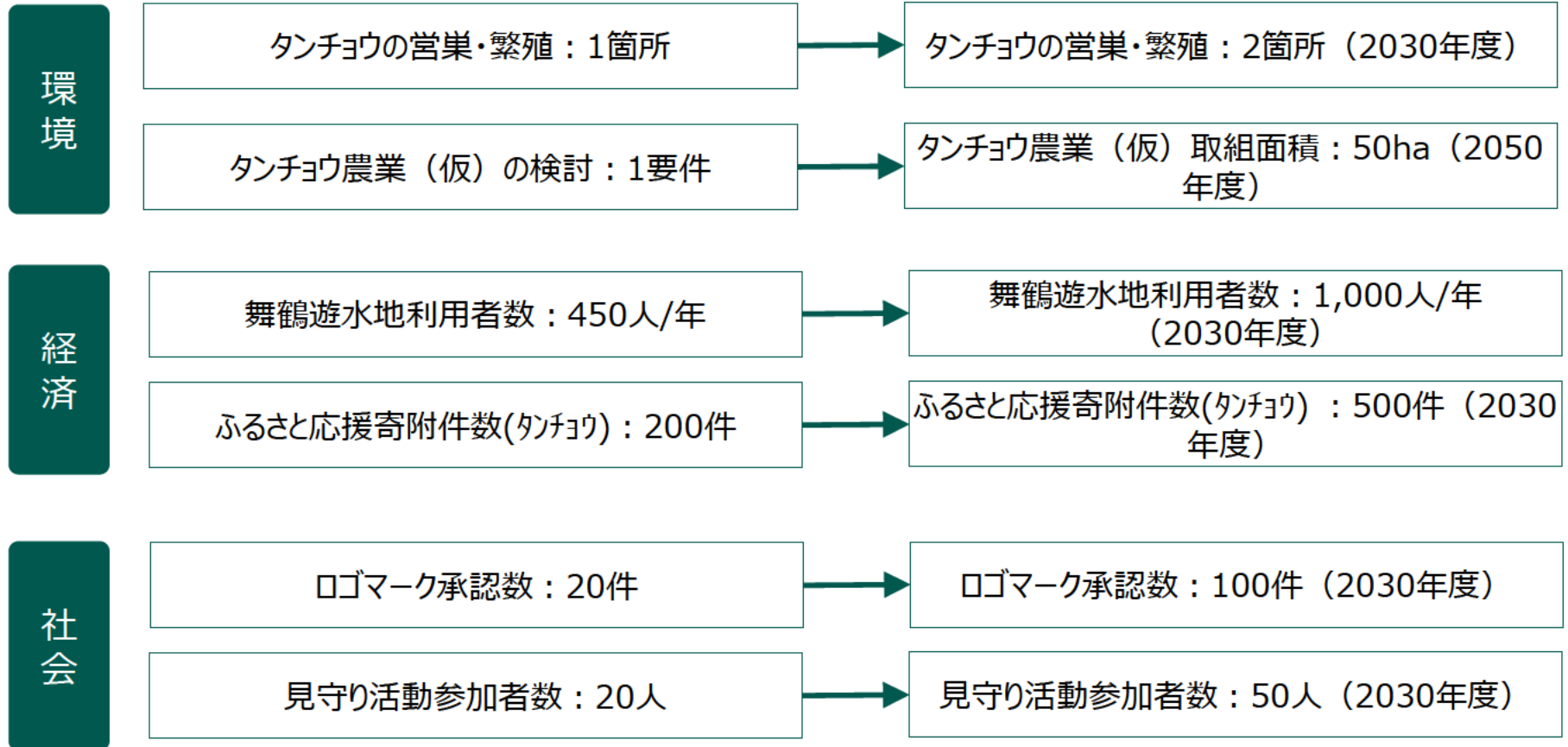
○タンチョウの繁殖・定着  
舞鶴遊水地を拠点として長沼町内でタンチョウが繁殖できる環境を構築し、タンチョウの定着を目指す。

○地域経済の活性化  
タンチョウをシンボルとして、農業や観光などの産業のブランド価値を高め、地域経済に還元される仕組みを構築する。

○対流型地域形成  
環境学習等により子ども達も含め地域ぐるみでタンチョウを見守る町をつくる。  
千歳川流域の近隣他市町との連携を深め、流域全体での生態系ネットワーク構築を目指す。

## 短期目標

## 長期目標



# コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

1	事業の名称	<b>舞鶴遊水地及び周辺施設の利活用</b>	
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○舞鶴遊水地の環境学習の場としての利活用を検討・実施する。</li> <li>○舞鶴遊水地の観光の場としての利活用を検討・実施する。</li> <li>○「鳥の駅マオイトー」の設置継続方策を検討する。</li> <li>○廃校活用の事例を視察し、舞鶴小学校（令和2年3月閉校）の活用構想を検討する。</li> <li>○「鳥の駅マオイトー」や廃校の利活用を支援してくれる企業・大学・研究機関等へアプローチする。</li> </ul>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>観察小屋設置・廃校活用のための資金不足 企業や大学・研究機関、金融機関等との連携</p>

2	事業の名称	<b>取組のPR・普及啓発</b>	
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町内におけるタンチョウも住めるまちづくりの取組の定着を図る。</li> <li>○町外に向けて、タンチョウも住めるまちづくりの取組を情報発信する。</li> <li>○観光客に向けて、タンチョウ観察マナーの発信・啓発を行う。</li> </ul>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>商品開発へ時間・資金をかけにくい 商品を継続的、安定的に販売するための販促・広報戦略</p>

3	事業の名称	<b>タンチョウをシンボルにした環境に配慮した農業の取組と農産物のブランド化</b>	
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長沼町の農業環境・作付状況・タンチョウの飛来状況等を踏まえて、タンチョウをシンボルにした環境に配慮した農法を検討する。</li> <li>○長沼町のタンチョウブランド農産物の販路開拓を行う。</li> </ul>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>農法の検討・実践 販路の確保</p>

# 今年度事業の成果と課題、今後の意気込み

## 今年度の成果

(本事業に取り組んで良かったこと)

- 本事業を通じて達成したい目標を具体的にイメージすることに役立った。
- 舞鶴遊水地を観光や環境学習などの拠点としても利活用するための環境整備が進んだ。
- タンチョウも住めるまちづくりの取組をPR・普及啓発するための事業を行うことができた。
- 先進地（兵庫県豊岡市）を視察することで、取組の参考・アイデアを得ることができた。

## 地域の活動の上での課題

- 地域のビジョン（マンダラ）について：集約した意見の精査に十分な時間を確保できなかった。
- ステークホルダーの巻き込みについて：呼びかけの対象選定が困難だった。取組を進めやすい人数（団体数）がわからない。既存の検討協議会や専門部会との整理のつけ方にも苦慮した。
- 成果指標について：町の他の計画との整合・調整が困難だった。町には長期的な目標が無い。成果状況を図るための体制が無い。環境関係の上位計画が無い。

## 今後の意気込み

(事業シートに記載している事項)

- 取組・活動の拠点施設の検討（廃校活用などの方策検討）
- 環境に優しい農業（仮称：タンチョウ農業）の検討・実践

(事業シートには不記載だが、長期目標を踏まえて取り組んでいきたいこと)

- 流域レベルでの取組の推進